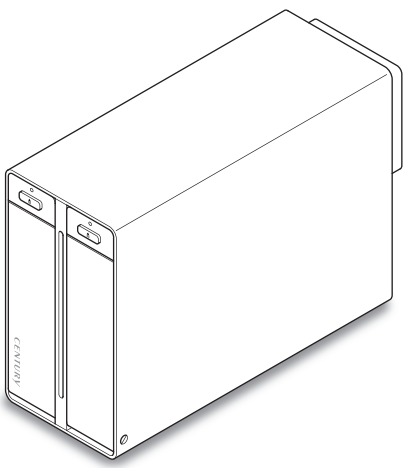
Century Corporation User's Manual

裸族のテラスハウスRAID
USB3.1 Type-C

CRTS35U31C
取扱説明書



CENTURY

CRTS35U31C Manual　2018/03/26

【もくじ】

ごあいさつ 4

はじめに 5

■安全上のご注意 5
■制限事項 10
■ご使用の前に 11

製品仕様 12

製品内容 13

各部の名称 14

対応HDD 15

対応OS 15

対応機種 16

使用上のお願い 17

HDDの組み込み方法 18

■HDDを接続する前に 18
■組み込みの前に 18
■HDDの取り付け方 20
■HDDの取り外し方 24
■ゴム足の取り付け方 25

PCとの接続方法 26

電源の投入方法 27

電源連動機能について 28

先頭ページへ

使用方法 30

■本体のスイッチとLEDについて …… 30
■アクセスLED表 …… 31

モードの設定・変更方法 32

■各モードの機能説明 …… 33
• Single[シングルモード(個別認識モード)] …… 33
• RAID 0[ストライピングモード] …… 34
• RAID 1[ミラーリングモード] …… 35
• LARGE[ラージモード] …… 36
■設定・変更の操作説明 …… 38
• モードの設定方法 …… 38
• モードの変更方法 …… 40

ディスクの故障とリビルド 42

■ディスクの故障 …… 42
■リビルド方法 …… 43
■リビルドする際のHDD交換位置に関して …… 43

トラブルシューティング 44

FAQ(よくある質問とその回答) 48

巻末付録 巻末付録1

●領域の確保とフォーマット …… 巻末付録2
●ハードウェアの取り外し手順 …… 巻末付録10
●MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録12
●MacOS 10.11以降でのフォーマット方法 …… 巻末付録16

サポートのご案内 巻末付録22

【ごあいさつ】

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項		禁止(禁止行為)
	分解禁止		濡れた手での接触禁止
	水濡れ禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		ケガに注意

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠警告

煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。
内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。
点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。

電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。
定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

⚠警告

電源ケーブル、接続ケーブルに関しての注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。
ケーブル被覆が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 各ケーブルを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむ、引っ張るなどの行為をしないでください。
- ケーブルの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。
- 各ケーブルやコネクタに負担をかけるような場所に設置しないでください。

雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、雷が鳴りだしたら電源ケーブルや接続ケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。
機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

【はじめに】

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠注意

設置場所に関しての注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

⚠注意

長期間使用しない場合は接続ケーブルを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続ケーブルを外して保管してください。

機器を移動するときは接続ケーブル類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続ケーブル類を外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【はじめに】

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
  このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
  必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は本書記載の環境にて動作検証を行っておりますが、製品リリース以降のバージョンアップ等により動作に制限が出る可能性があります。
  恒久的なサポートを保証するものではありません。
- 本製品は3.5インチのSATA HDD専用です。
  パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

注意

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

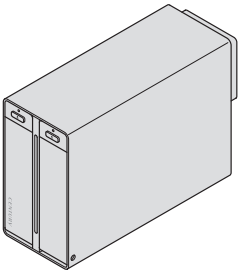
商品名	裸族のテラスハウスRAID USB3.1 Type-C	
型番	CRTS35U31C	
インターフェイス	デバイス側	SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
	ホスト側	USB3.1 Gen2（10Gbps）
冷却ファン仕様	6cm角、2,500rpm±10% ノイズレベル19dB ※冷却ファン単体での計測値	
本体寸法	幅80×高さ144×奥行189mm（縦置きの場合、突起部含まず）	
重量	約1,160g（ドライブ含まず）	
温度・湿度	温度5℃～35℃・温度20%～80% （結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）	
電源仕様	【AC入力】100～240V　【DC出力】12V/4A	

※本製品にHDDは含まれておりません。

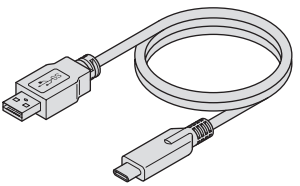
先頭ページへ

【製品内容】

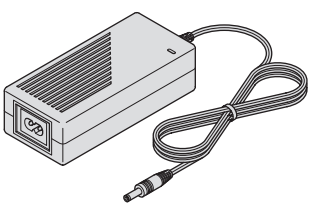
☐ CRTS35U31C 本体



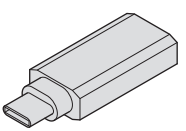
☐ 専用USBケーブル
（Type-A/オス⇔Type-C/オス）



☐ 専用ACアダプター

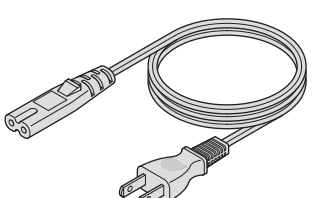


☐ 専用変換アダプター
（Type-C/オス⇔Type-A/メス）

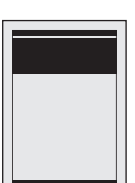


☐ ゴム足（x4）

☐ 専用ACケーブル

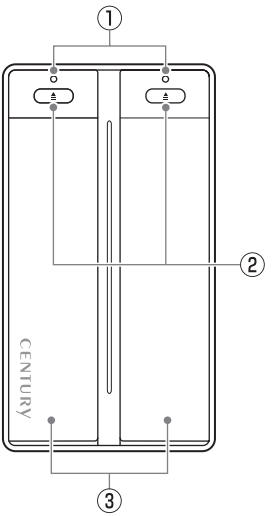


☐ 取扱説明書/保証書（本書）



【各部の名称】

〈前面〉

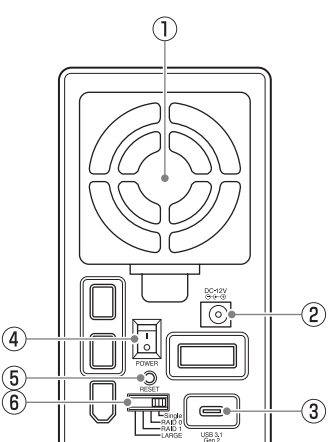


①アクセスLED
→LEDの挙動については
P.31「アクセスLED表」
をご参照ください。

②ドアオープンボタン

③フロントドア/HDDスロット

〈背面〉



①6cm冷却ファン

②DCコネクタ

③USB3.1コネクタ

④電源スイッチ

⑤モード変更ボタン

⑥モード切替スイッチ

先頭ページへ

【対応HDD】

■3.5インチSATA HDD
【SATA I(1.5Gbps) / II(3.0Gbps) / 3.0(6Gbps)】

※本製品はSATA HDD専用です。PATA(IDE)HDDは接続できません。
※12TBまでのHDDで動作確認を行っております(2018年3月現在)。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
※出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。
あらかじめご了承のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。
※筐体が通常のHDDとは異なる形状のHDDは、HDDの挿入/取り出し動作に支障がでる場合があります。

【対応OS】

●UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8.1以降またはMacOS 10.8以降のOSが必要となります。

■Windows

• Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7

※Windows RT、Starter Edition、Embedded、Enterprise、mobileは動作対象外となります。
※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

• MacOS 10.13.3/10.12.6/10.11.6/10.10.5/10.9.5

【対応機種】

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8.1以降または MacOS 10.8以降のOSが必要となります。

■Windows

- USB3.1インターフェイスポートを搭載したWindows PC
- USB3.0インターフェイスポートを搭載したWindows PC
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したWindows PC
- CPUクロック2GHz／メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨。

動作確認済 USB3.1ホストコントローラ
• Asmedia ASM1142 USB3.1ホストコントローラ • Intel DSL6540 USB3.1ホストコントローラ
動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ
• Intel Z170チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ • Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ • Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ • ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ • Frescologic FL1100 USB3.0ホストコントローラ • Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ • RENESAS(NEC) μPD720200/202 USB3.0ホストコントローラ • VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ
※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

■Mac

- USB3.1インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac
- USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac
- USB2.0インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.1/3.0での動作は、USB3.1またはUSB3.0ホストインターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。
USB3.1/3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

※USB-C(Type-C)コネクタ搭載のPCおよびMacに接続する場合、USB Type-C変換アダプタ等が必要になります。
本製品には付属しませんので、別途お買い求めください。

【使用上のお願い】

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

SATA HDDの取り扱いについて

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
また、本製品の構造上、HDDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB接続時のOS起動には対応していません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDをむき出し=「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られていますが、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やホコリに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いいたします。
また、HDDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、静電気防止袋等をご使用のうえ、大切に保管していただくようお願いいたします。

先頭ページへ

【HDDの組み込み方法】

HDDを接続する前に

⚠警告 HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
  人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
  作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

組み込みの前に

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
  作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

⚠注意 フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

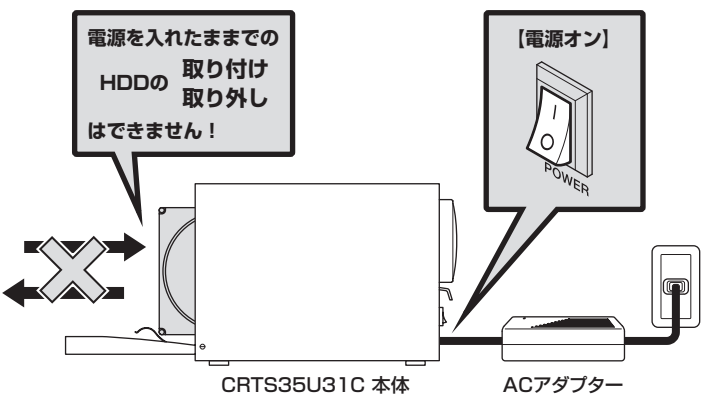
※注意
すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。

⚠警告

■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- 本製品はまずHDDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- 本製品のみの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。

※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDDの故障をまねく可能性がございます。



【HDDの組み込み方法】

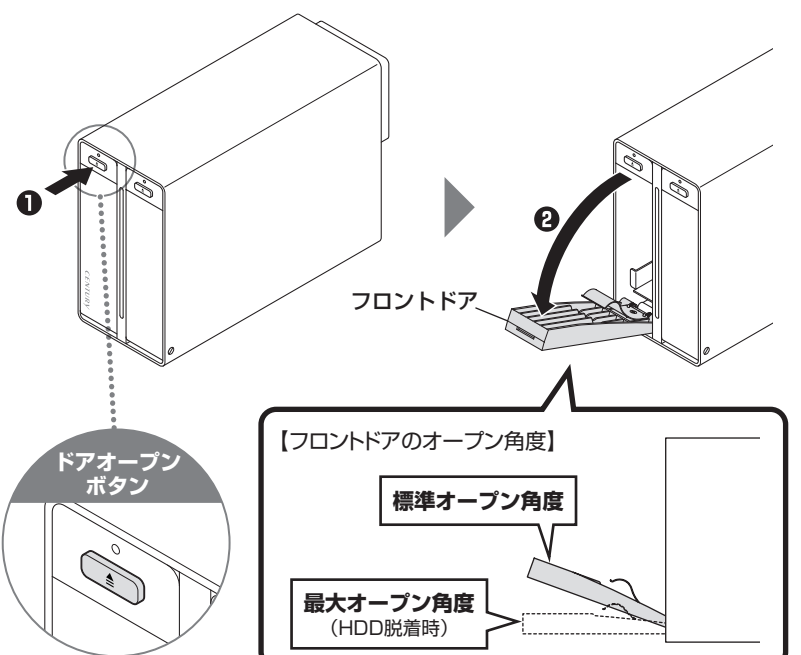
HDDの取り付け方

※本製品はシリアルATA（SATA）HDD専用です。パラレルATA（PATA）は接続できません。

注意

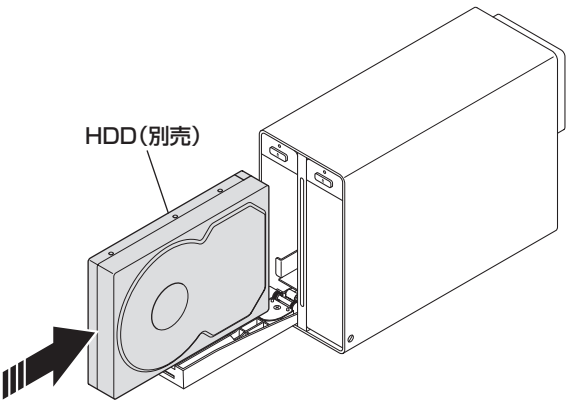
■おことわり：本項では、左側への組み込みを説明していますが、右側への組み込みも同様に行うことができます。

1 フロントドアの上部にあるドアオープンボタンを押すと（❶）、フロントドアが手前に開きます（❷）。



先頭ページへ

2 図の方向でHDDをスロットに差し込みます。



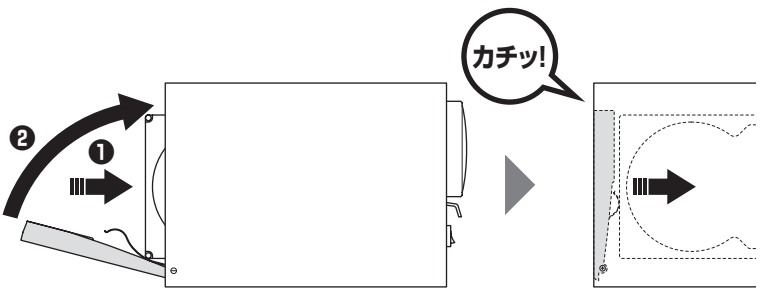
注意

HDDを差し込む際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
力まかせに押し込むと破損や故障の原因となります。
また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDDの組み込み方法】

HDDの取り付け方（つづき）

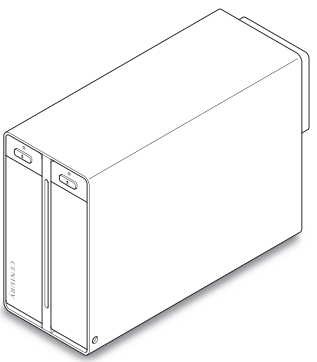
3 HDDを差し込んで奥に当たったら（❶）、フロントドアを持ち上げて「カチッ」と音が鳴るまでHDDを押し込みます（❷）。



注意

フロントドアが奥まで押し込めないときは無理に押し込まず、ドアを手前に戻し、再度ゆっくり押し込んでください。
また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

4 右側のスロットもそれぞれ同じようにHDDをセットして完成です。



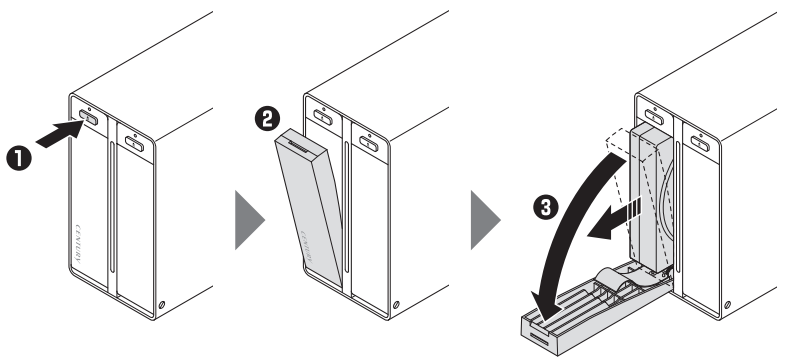
新しいHDDを接続した場合、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。【領域の確保とフォーマット】または【MacOSでの使用方法】【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合
  →巻末付録2【領域の確保とフォーマット】
  をご確認ください。
- Macでお使いの場合
  →巻末付録12【MacOSでの使用方法（MacOS 10.6～10.10まで）】
  または、
  巻末付録16【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】
  をご確認ください。

【HDDの組み込み方法】

HDDの取り外し方

1 フロントドアの上部にあるドアオープンボタンを押すと(❶)、フロントドアが手前に少し開き一旦止まります(❷)。
さらに手前に倒して全開にすると(❸)、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されます。
そのままHDDをスロットから手で引き出してください。



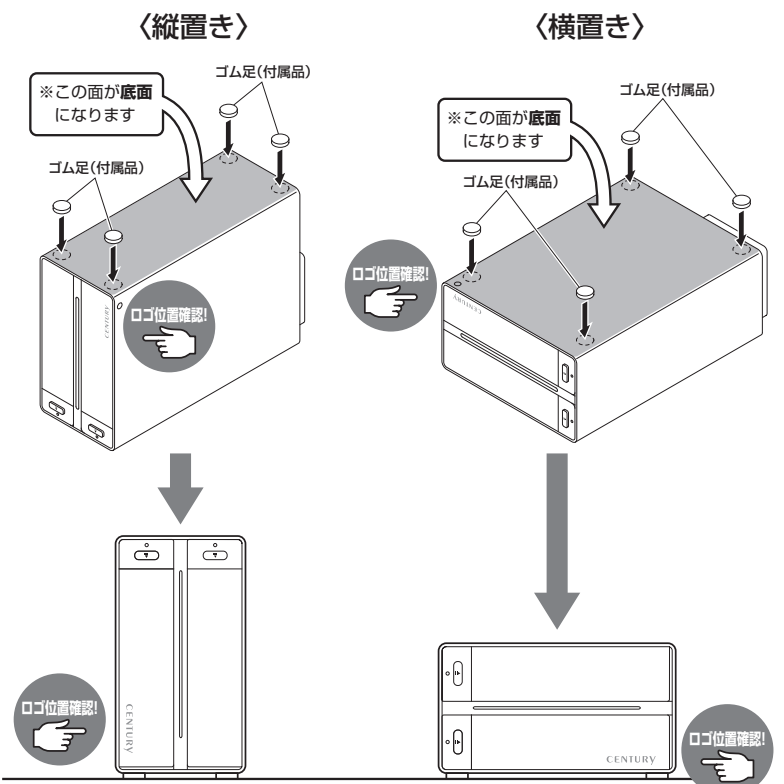
注意

HDD取り外し時のご注意

フロントドアの動きに連動して内部のアームがHDDを押し出す仕組みになっており、フロントドアを開く際に少し負荷がかかりますが故障ではありません。
少し力を入れてフロントドアを引くことでHDDが取り外されます。

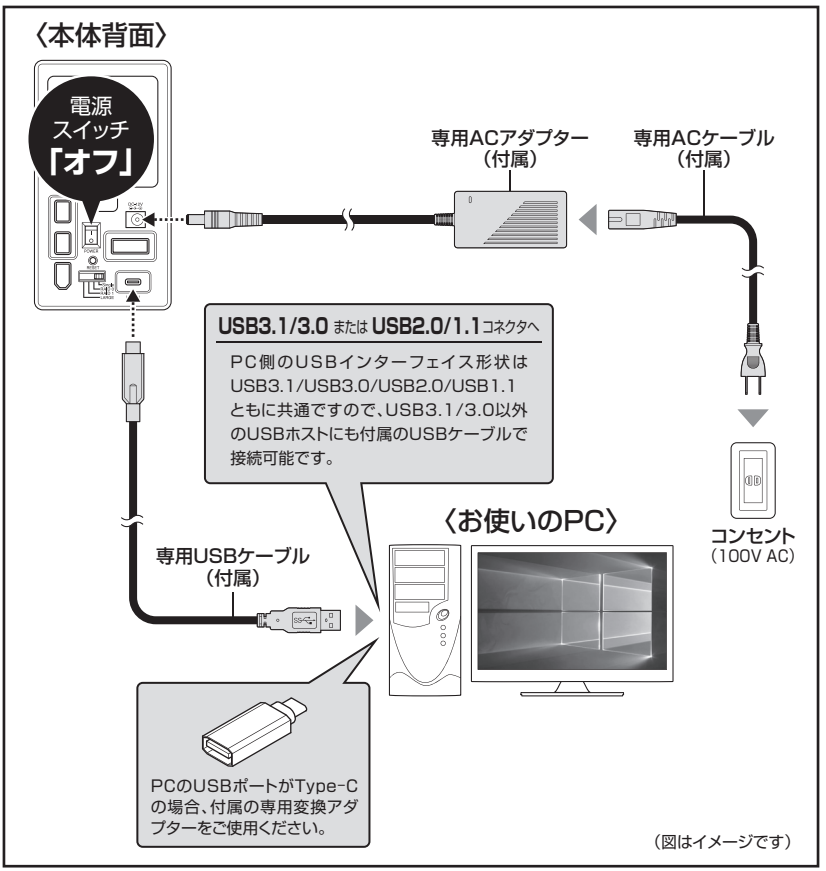
ゴム足の取り付け方

本製品は縦置き、横置きができます。
設置する際は、底になる面の4箇所に付属のゴム足を取り付けてください。



■注意！
※図で示した向き以外での設置は動作の保証ができません。必ず図の向きで設置を行ってください。

【PCとの接続方法】



※PCと接続後、P.27【電源の投入方法】をご確認のうえ、電源の投入を行ってください。

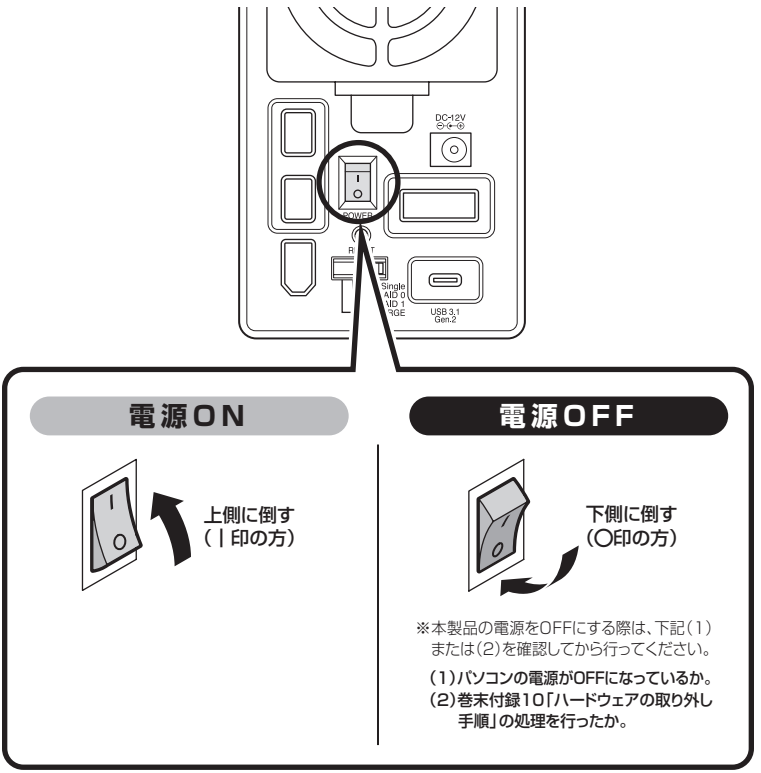
注意

接続は必ず電源スイッチが**「オフ」**の状態で行ってください。
電源がオンの状態で接続を行うと、HDDが破損するおそれがあります。

先頭ページへ

【電源の投入方法】

電源スイッチはシーソー式で、【｜】側に倒すと電源ON、【○】側に倒すと電源OFFになります。



※電源オフ→電源オンを行うときは、電源をオフにしたあと5秒程度待ってから電源をオンにしてください。

※他のスロットに挿入したHDDのアクセス中にHDDの電源をオン/オフすることは、お控えください。転送エラー等、予期しないエラーが発生する場合があります。

【電源連動機能について】

PCの電源をOFFにすると、搭載したすべてのHDDと冷却ファンの回転が停止します。
以降、PCの電源ON/OFFに合わせてHDDと冷却ファンが回転・停止するようになります。

※HDDの抜き差しを行う際は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
電源ONの状態でHDDの抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

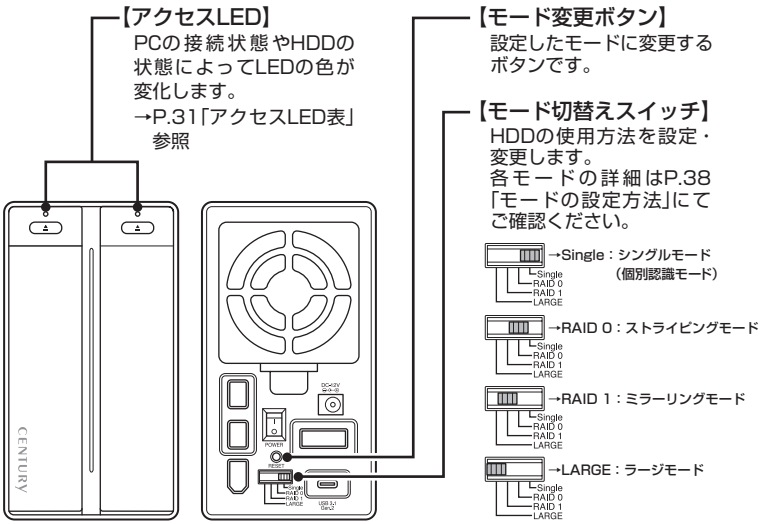
※HDDの回転とファンの回転を個別にコントロールすることはできません。
また、搭載したHDDの回転/停止を個別にコントロールすることはできません。
あらかじめご了承ください。

**※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。
長時間ご使用されない場合は、本製品の電源スイッチをOFFにしてください。
また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。
その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON/OFFを行ってください。**

【使用方法】

本体のスイッチとLEDについて

本製品のLEDは次のような動作を示します。



先頭ページへ

アクセスLED表

本体の動作	アクセスLED
PC未接続時	本製品とPCの接続が切り離されると両方のLEDが消灯します。
HDD未挿入	挿入していないスロットのLEDが消灯します。
HDD挿入	挿入したスロットのLEDが青色に点灯します。
シングル時HDDアクセス	アクセスしているスロットのLEDがピンク色に点滅します。
ストライピング時HDDアクセス	両方のスロットのLEDがピンク色に点滅します。
ミラーリング時HDDアクセス	両方のスロットのLEDがピンク色に点滅します。
ラージ時HDDアクセス	アクセスしているスロットのLEDがピンク色に点滅します。
HDDエラー	エラーが発生したスロットのLEDが消灯します。 ※故障の状態によってLEDの挙動が異なる場合があります。
RAIDリビルド時(P.43)	両方のスロットのLEDが青色⇔ピンク色にゆっくり点滅します。

【モードの設定・変更方法】

本項では各モードの機能と設定・変更の操作方法を説明します。

〈各モードの機能説明〉

■Single[シングルモード(個別認識モード)] ……P.33
■RAID 0[ストライピングモード] ……P.34
■RAID 1[ミラーリングモード]……P.35
■LARGE[ラージモード] ……P.36

〈設定・変更の操作説明〉

■モードの設定方法……P.38
■モードの変更方法……P.40

⚠ご注意！ ～必ずお読みください～

- モードの設定･変更をする際は、必ず本製品を起動状態のPCに接続した状態で行ってください。接続していない場合、設定が正常に行われません。
- 本製品は、Single[シングルモード(個別認識モード)]以外で使用する場合、必ずHDDのフォーマットが必要になります。
  すでにデータが入っているHDDを接続する場合は、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。
  また、すでにデータの入ったHDDをSingle[シングルモード(個別認識モード)]で使用する場合も、フォーマットが必要な場合があります。
- モードの設定を行った際は、必ず希望するモードに設定されているか確認後、データの保存等を行ってください。モード設定後、更にモードを変更する場合、必ずHDDをフォーマットする必要があります。

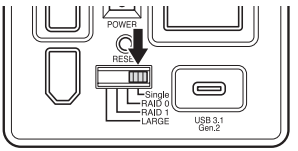
  ■領域の確保とフォーマット→巻末付録2

  ■Macでのフォーマット方法→巻末付録12、巻末付録16

先頭ページへ

各モードの機能説明

■Single［シングルモード（個別認識モード）］

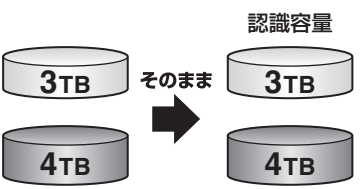


○HDDを別々に認識させます。HDD1台で使用する場合は、このモードを使用してください。

○すでにデータの入っているHDDを接続して、そのまま使用することができます。

※ダイナミックディスク形式に変換されたHDDや、特殊な領域（リカバリ領域等）があるHDDは使用できない場合があります。その際はHDDをフォーマットする必要がありますので、あらかじめご了承ください。

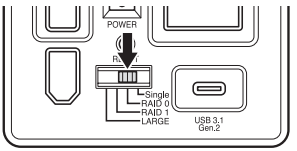
～「Single」の模式図～



【モードの設定・変更方法】

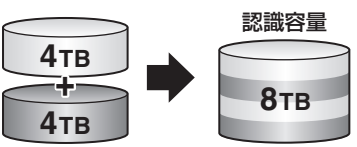
各モードの機能説明（つづき）

■RAID 0［ストライピングモード］



○データを2台のHDDに分散して、読み込み/書き込みを行います。
○HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
○高速な代わり、HDDのデータを保護する機能がないため、どちらか片方のHDDが故障するとデータは読み取れなくなります。
データの保護を優先したい場合は、RAID 1［ミラーリングモード］の使用をお勧めします。

～「RAID 0」の模式図～



注意 **設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。**

★センちゃんのRAID豆知識★

セ：どうしてRAID 0［ストライピングモード］はRAIDじゃないのにRAIDという名前がついているの？

→RAIDの略称のいちばん最初Redundant（余分、冗長）という言葉が表すとおり、RAIDは余分な容量を設けて信頼性を上げ、ひいてはデータの消失トラブルを防ぐためのものです。
こうした機能のないSTRIPINGがRAIDと呼ばれるのは、RAID 3以降に使われている分散書き込み技術だからであるようです。
また、RAID 0は“ゼロ”なのでRAIDに満たない、という解釈もあるようです。

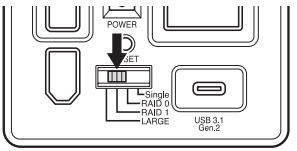
先頭ページへ

■RAID 1 [ミラーリングモード]

○2台のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。

○同じ内容を2台のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。

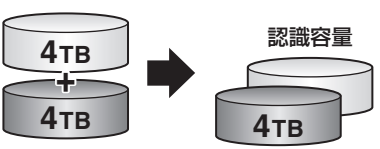
○転送速度はSingle[シングルモード(個別認識モード)]と同等になります。



注意

2台のディスクに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。
※この構成ではHDDが2台必要です。

～「RAID 1」の模式図～



4TBのHDDを2台使用すると4TBのHDD1台のボリュームとして認識される。

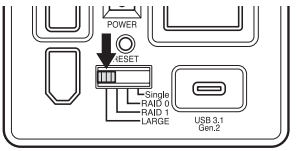
注意

- **設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。**
- **RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。**
  万が一(落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去)に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

【モードの設定・変更方法】

各モードの機能説明（つづき）

■LARGE［ラージモード］

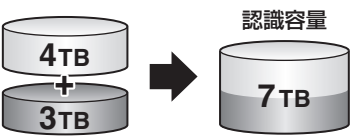


○2台のHDDを連結して1つのHDDに見せかけます。
この構成に限り、異なる容量のHDDで構築してもHDDの容量が無駄になりません。

○RAID 0［ストライピングモード］と異なり、HDDの転送速度は向上しません。
転送速度を向上させたい場合はRAID 0を使用してください。

○データ保護処理は行われませんので、どちらか片方のHDDが故障するとデータはすべて失われます。

～「LARGE」の模式図～



注意 **設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。**

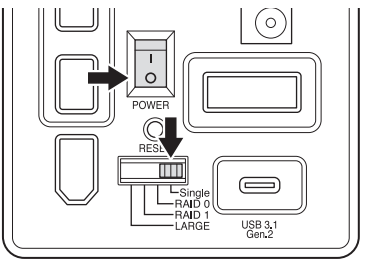
先頭ページへ

【モードの設定・変更方法】

設定・変更の操作説明

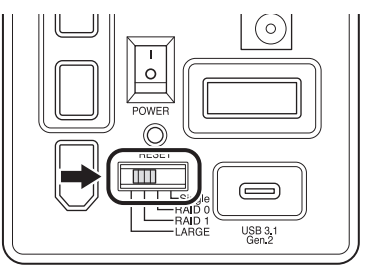
■モードの設定方法

1



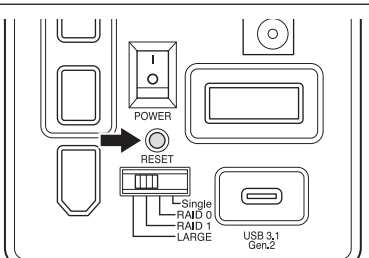
電源がOFFの状態で、モード切替スイッチをSingleの位置に合わせ電源をONにし、PC上でHDDが2台認識されているかを確認してください。

2



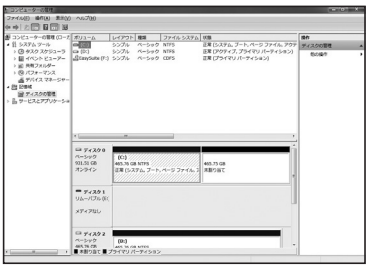
PC上で認識している状態で、モード切替スイッチを設定したいモードの位置に合わせます。

3



ボールペンの先や細い棒などを使ってモード変更ボタンを約5秒間長押しすると、自動的にPCとの接続が解除、再接続されてモードが変更されます。

4



希望のモードに変更されたか(ドライブ数、容量)を、確認してください。
モードによってHDDがどのように認識されるかは、各モードの説明をご参照ください。

【モードの設定・変更方法】

設定・変更の操作説明（つづき）

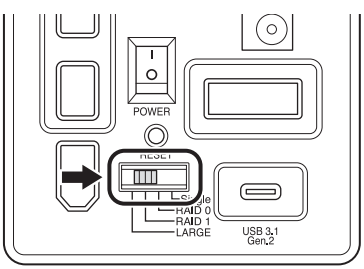
■モードの変更方法

いちど設定したモードを変更する場合は次の操作を行います。

> **注意**
> **モードの変更を行うと、HDDを必ずフォーマットする必要があります。**
> **すでにデータが入っているHDDを接続する場合は、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。**

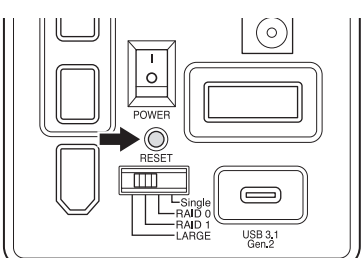
1 PC上でHDDが認識されているかを確認してください。

2



PC上で認識している状態で、モード切替スイッチを設定したいモードの位置に合わせます。

3



ボールペンの先や細い棒などを使ってモード変更ボタンを約5秒間長押しすると、自動的にPCとの接続が解除、再接続されてモードが変更されます。
希望のモードに変更されたか（ドライブ数、容量）を、確認してください。
モードによってHDDがどのように認識されるかは、各モードの説明をご参照ください。

【ディスクの故障とリビルド】

ディスクの故障

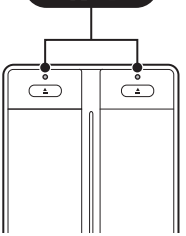
HDDの故障時、故障したスロットのステータスLEDが消灯します。
設定したモードに応じて故障したディスクの除去、交換を行ってください。

HDDが故障すると…

故障したスロットの
ステータスLEDの挙動

↓

消灯※



※エラーの発生状況によって
LEDの挙動が異なる場合が
あります。

■RAID 1の場合

片方のHDDが故障した場合、データは保持されています。
故障したHDDを交換してリビルドを行ってください。→リビルド方法(P.43)

■RAID 0、LARGEの場合

残念ながら、HDDが1台故障しただけでデータが失われます。
故障したHDDを交換するか取り除いて、モードの再設定およびディスクのフォーマットを行ってください。

■Singleの場合

故障したHDDの内容は失われますが、もう1台のHDDには影響ありません。
故障したHDDを取り除くか交換してください。
交換したHDDはフォーマット後、使用可能になります。

注意 **ディスクの故障に備え、重要なデータは複数媒体への多重バックアップをお勧めします。**

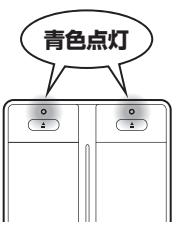
リビルド方法

本製品の電源を切り、故障したHDDを交換したあと再度電源を投入すると自動的にリビルドが開始されます。

※リビルドを開始する際は、PCと接続し、PCの電源をONにした状態で行ってください。

リビルド中

リビルド終了



注意

- **交換するHDDは必ず故障したHDDと同じか、より大きい容量のものをご用意ください。容量の少ないHDDを挿入するとリビルドは開始されません。**
- **リビルドの前、またはリビルドの途中でRAIDモードの変更を行わないでください。リビルドが正常に開始・再開されません。**
- **リビルド中はトラブルを避けるためにも、できる限り本製品の電源をOFFにしないでください。電源を切った場合、再度電源を入れることでリビルドが再開されます（PCの電源がOFFの場合リビルドが再開しませんのでご注意ください）。**
- **リビルドが開始されるまではPCの電源をOFFにしないでください。リビルド開始前にPCの電源をOFFにすると電源連動機能が働いてしまい、リビルドが開始されません。**
- **リビルド中は絶対にHDDの交換をしないでください。両方のHDDのデータを破損、消失するおそれがあります。**

リビルドする際のHDD交換位置に関して

HDDを交換する際は位置を入れ替えたりせず、必ず取り外した位置に交換するHDDを接続してください。

●リビルドの所要時間

リビルドは構築しているRAIDの容量によります。

3TB（3,000GB）のRAIDを構築している場合は、リビルドの完了までに約8時間※かかります。

※弊社テスト環境での参考値です。接続しているHDDやアクセス状態によって時間が前後することがあります。

【トラブルシューティング】

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- アクセスLEDが正しく点灯しているか

■モードを変更しても設定が反映されない

→モードを変更する際は、本製品がPC上で認識している必要があります。
（PCに接続していないと自動電源機能が働き電源が入りません。）
詳しい手順はP.40「モードの変更方法」をご参照ください。

★ご注意：モードを変更すると、HDDに保存されたデータが消去されますので、変更前に必ずデータのバックアップを取るようにしてください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→巻末付録12【Macでの使用方法】
  または
  巻末付録16【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】をご確認ください。

■転送速度が遅い

→USB2.0ホストに接続した場合、転送速度は最大で480Mbps（理論値）となります。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はOFFの状態で各ケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。
スリープ、スタンバイ、休止状態する前に取り外しを行ってください。

■2TBのHDDをコンバインで接続したのに容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法に違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

- **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

- **1KB = 1024 バイト**
- **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**
- **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**
- **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

- **2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■リビルドに時間がかかる

→リビルドの際の平均転送速度は約90MB/秒になります。

大容量のHDDの場合、リビルド完了までに時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、リビルド中、HDDにアクセスを行うとリビルドが中断されるため、さらに時間がかかります。

〈例〉3TB HDDのリビルド所要時間…**約8時間**

※弊社テスト環境での参考値です。
接続しているHDDやアクセス状態によって時間が前後することがあります。

■リビルドが完了しない

→交換したHDDに不良セクタがあると、リビルドが完了しないことがあります。

ディスクチェックツールなどでエラーの有無をご確認ください。

また、リビルド中にPCの電源OFF状態で本製品の電源をOFF→ONにすると電源連動機能が働いてしまい、リビルドが中断されてしまいます。

PCの電源をONにすればリビルドは再開されますが、リビルド中は本製品の電源操作は極力行わないようにしてください。

【トラブルシューティング】

■数日おきにリビルドが繰り返される

→HDDの片方が故障しているか、異なる型番のHDDでRAID 1を構築していると、相性の問題でこのような現象が発生する可能性があります。
それぞれのHDDが故障していないかをチェックした上、別のHDDでRAID 1を組み直すなどをお試しください。
弊社ではHDDの組み合わせや相性によるトラブルは保証いたしかねます。

■故障したHDDを交換してもリビルドが開始されない

→次のことをご確認ください。

- HDDの容量にご注意ください。HDDの容量が交換したHDDより少ない場合、リビルドを行うことができませんので、必ず同型番、同容量もしくは容量の大きなHDDと交換してください。
- リビルドが開始されるまではPCの電源をOFFにしないでください。リビルド開始前にPCの電源をOFFにすると本製品の電源連動機能が働いてしまい、リビルドが開始されません。
  いちどリビルドが開始されると、PCの電源をOFFにしてもリビルドは続行します。
- 交換するHDDが以前RAIDで使用されていた場合、HDD内のRAID情報が残っていて正常にリビルドが開始されないことがあります。この場合、次の方法で交換するHDDのRAID情報を消去してください。

★ご注意！：操作を間違えてしまいますとデータが消えてしまう可能性がありますので、重要なデータはバックアップを行ってからの作業をお勧めします。

【手順】

1. 本製品の電源をOFFにし、データの入っている側のHDDを取り出します。最終的にデータの入ったHDDは同じスロットに戻しますので、どちらのスロットから取り出したか必ずメモ等をお取りください。
2. 故障して交換したHDD(リビルド先のHDD)を本製品に挿入し、電源をONにします。
3. PC上で認識している状態で、モード切替スイッチを「Single」にセットし、モード変更ボタンを約5秒間長押しします。
4. ディスクの管理(Windows)やディスクユーティリティ(Mac)で正しく1台分の容量で認識されているかを確認し、HDDのフォーマットを行ってください。
   →巻末付録2【領域の確保とフォーマット】
   →巻末付録12【MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで)】、
   巻末付録16【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】
5. フォーマット後、電源をOFFにしてデータの入ったHDDを元の位置に挿入しモード切替スイッチを「RAID 1」に設定して、電源をONにします。
6. リビルドが開始されます。

■USB3.0接続時、認識が不安定になったりHDDが断続的に回転・停止を繰り返す

→USB3.0ホストコントローラのドライバが最新のものになっているかご確認ください。

■2TB超のボリュームを作成したが、フォーマットしようとすると2TBで分割されてしまう

→MBR形式の場合、使用できる最大容量が2TBとなります。
GPT形式にて初期化することで、2TB以上の容量が使用可能となります。

【FAQ（よくある質問とその回答）】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：1台あたり12TB(テラバイト)までとなります。(2018年3月現在)

Q：どんな形式のHDDが接続可能ですか？

A：3.5インチサイズのシリアルATA(SATA)HDDが接続可能です。
パラレルATA(IDE)のHDDは接続できません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

Q：USB3.0接続時、UASP(USB Attached SCSI Protocol)に対応していますか？

A：本製品はUASPに対応していますが、3.5インチHDDの場合、HDD自体の転送速度がボトルネックとなるため大幅な転送速度向上にはなりません。
2.5インチSSDをご使用になる場合は、別途弊社製品「裸族のインナー(CRIN2535)」をお買い求めいただくことで、本製品に2.5インチSSDを組み込むことが可能です。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：OS起動についてはサポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

Q：SATA3.0(6Gbps)のHDDは使用可能ですか？また、SATA3.0の速度は出ますか？

A：SATA3.0(6Gbps)のHDDを使用することは可能ですが、実際の転送速度は接続するインターフェイスによって上限が大きく異なります。
[例]
- USB3.1の場合：**10Gbps**
- USB3.0の場合：**5Gbps**
- USB2.0の場合：**0.48Gbps**

また、上記理論値と実際の転送速度は、お使いのPCのスペックや搭載するHDDによっても大きく異なりますので、あらかじめご了承ください。

Q：ホットスワップはできますか？

A：本製品はホットスワップに対応していません。HDDの取り付けや交換を行う際は、必ず電源を切った状態で行ってください。
電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDDを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：電源連動機能を無効にすることはできますか？

A：本製品の電源連動機能を無効にすることはできません。あらかじめご了承ください。

Q：HDDは1台のみでも使用できますか？

A：使用可能です。

Q：HDDをあとから1台追加して使用することは可能ですか？

A：Single[シングルモード(個別認識モード)]のみ可能です。

Q：ミラーリングで使用しているHDDを、容量の大きいHDDに交換した場合、余った容量はどうなりますか?
また、段階的に2台入れ替えれば、RAIDボリュームの容量を大きくできますか?

A：容量の大きいHDDに入れ替えてリビルドがかかった場合、余った領域はそのまま切り捨てられ、使用することはできません。
1台目のリビルド後、もう1台のHDDを入れ替えても、いちばん最初にRAIDを構築した際のサイズが維持されます。

【FAQ（よくある質問とその回答）】

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか?

A：RAIDやダイナミックディスクで使用していなかった場合は基本的にSingle[シングルモード（個別認識モード）]で使用可能ですが、以前のご使用環境によってはご使用できない場合があります。
使用できない場合はフォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：すでにデータの入ったHDDをRAID 1[ミラーリングモード]で使用することは可能ですか?

A：RAID 1[ミラーリングモード]に設定する際に必ずHDDのフォーマットが必要になるため、データの入った状態では使用できません。
他のメディア等にバックアップを取り、本製品でRAID 1構築後にデータ移行をしてご使用ください。

Q：RAID 1[ミラーリングモード]で使用していたHDDをあとからデータを保持したままSingle[シングルモード（個別認識モード）]に切り替えることは可能ですか?

A：可能です。

Q：本製品のRAID 1[ミラーリングモード]で使用していたHDDを取り外して他のHDDケースに入れた場合、データにアクセスできますか?

A：原則的には可能ですが、すべてのHDDケースでの動作を保証するものではありません。
また、他のHDDケースで動作させたHDDを本製品に戻した場合の動作は保証できませんのであらかじめご了承ください。

Q：裸族のインテリジェントビルや裸族の二世帯住宅、裸族のテラスハウスRAID SATA6G（CRTS35EU3RS6G）等、他のHDDケースで使っていたRAID HDDをそのまま使用することは可能ですか?

A：本製品と他のRAID HDDケースに互換性はありません。
また、本製品のRAID HDDをそのまま他のRAID HDDケースで使用することもできません。
別のメディアにバックアップを行ってからデータを移行してください。

Q：複数のCRTS35U31C間でHDDを交換して使えますか？

A：Single[シングルモード（個別認識モード）]でのみ入れ替え可能です。
RAIDを作成した場合はHDDの入れ替えは行わないでください。

Q：RAID 1［ミラーリングモード］時、確実に両方のHDDにデータが書かれているか確認できますか?

A：確認方法はありません。
書き込みを行って両方のアクセスLEDがピンク色に点滅すれば、ミラーリングで動作しています。

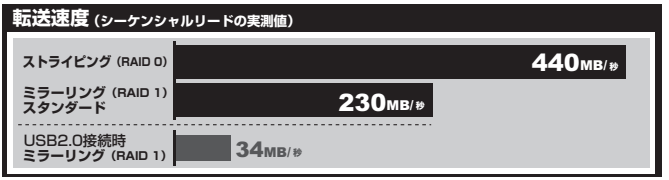
Q：HDDのS.M.A.R.T情報が正しく表示されません。故障ですか？

A：本製品からのS.M.A.R.T取得は対応しておりません。あらかじめご了承ください。

Q：実際の転送速度は？

A：CPUやホストインターフェイスの性能によって実測値は変わってきます。
弊社テスト環境での実測値は下図になります。

〈CRTS35U31Cの転送速度（実測値）〉



※弊社テスト環境での実測値となります。転送速度はご使用の環境により異なりますのであらかじめご了承ください。

ーテスト環境ー
■使用HDD：HGST HDN726060ALE610（6TB）
■使用USB3.1ホストインターフェイス：Intel DSL6540
■ベンチマークソフト：Crystal Disk Mark 5.2.1

MEMO

先頭ページへ

【巻末付録】

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

●領域の確保とフォーマット…… 巻末付録2
●ハードウェアの取り外し手順 …… 巻末付録10
●MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録12
●MacOS 10.11以降でのフォーマット方法…… 巻末付録16

！ご注意ください！

●領域の確保とフォーマットを行うと、HDDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
●以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
●通常、データが入っているHDDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

注意

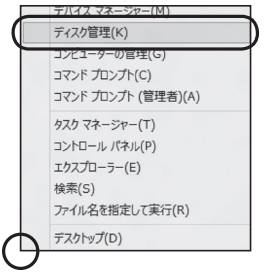
この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7の場合

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

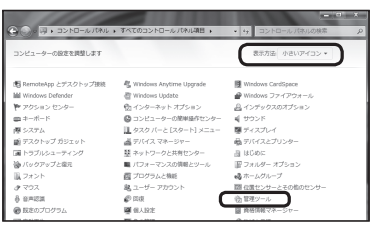
	Windows 10でのフォーマット方法
	http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html
	Windows 8.1でのフォーマット方法
	http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html
	Windows 7でのフォーマット方法
	http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html

1.



□Windows 10 / Windows 8.1

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

2.

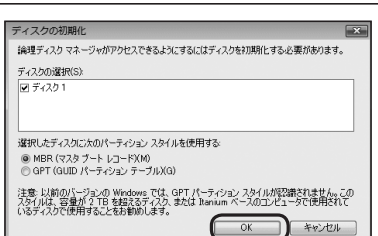
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウインドウが表示されます。
【続行】をクリックしてください。
続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

3.

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.



【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

先頭ページへ

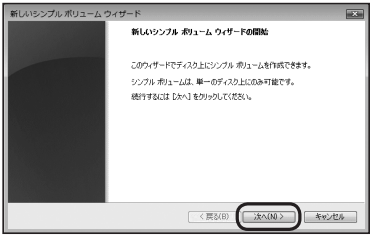
5.

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

ＭＢ（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

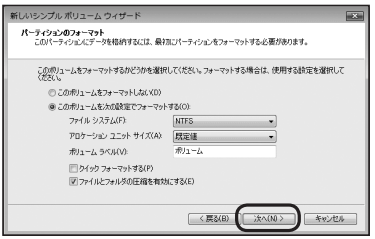
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

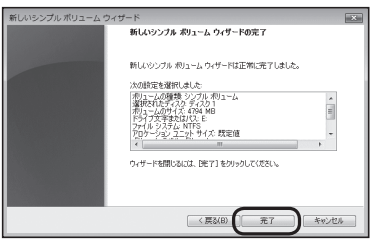
- **ファイルシステム**
  NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
- **アロケーションユニットサイズ**
  パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。
  特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、既定値を選択します。
- **ボリュームラベル**
  マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
- **クイックフォーマットする**
  このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
  通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
  お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
  このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
  通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
  一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

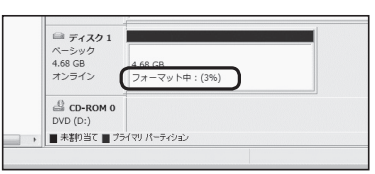
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

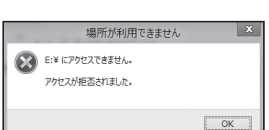
11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

先頭ページへ

【巻末付録】

ハードウェアの取り外し手順

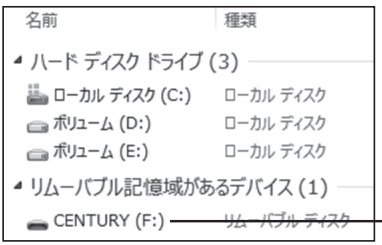
本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面は Windows 8 のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

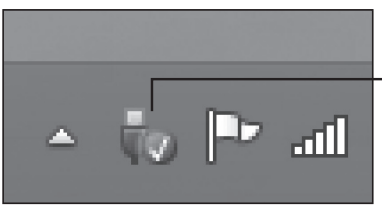
---

1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。
例：ドライブ（F:）を取り外す場合



---

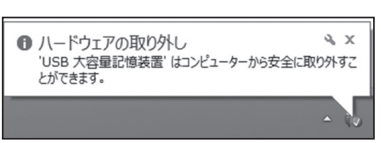
2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



3. **手順 1** で確認したドライブレターのドライブをクリックします。

※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



【巻末付録】

MacOSでの使用方法（MacOS 10.6～10.10まで）

本項では、MacOSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※MacOS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録16【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。

注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

	Macでのフォーマット方法
	http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format-faq.html

1.

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。
起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

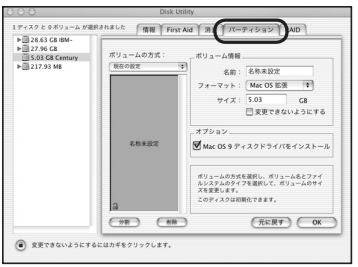
2.

接続されているディスクの情報が表示されます。

【巻末付録】

MacOSでの使用方法(MacOS 10.6~10.10まで)(つづき)

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

■ボリューム情報：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

■名前：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

■フォーマット：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は MacOS標準かMacOS拡張を選択してください。

■サイズ：作成するボリュームのサイズを変更できます。

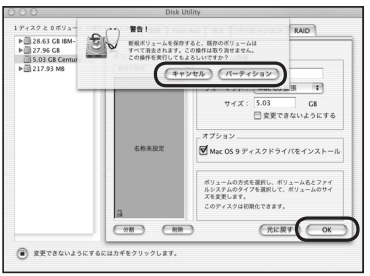
■オプション：MacOS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS 9で動作するドライバをインストールします。

■分割：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

■削除：選択されているボリュームを削除します。

■元に戻す：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

フォーマットが完了すると、デスクトップにHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【巻末付録】

MacOS 10.11以降でのフォーマット方法

注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

	Macでのフォーマット方法 （OS X El Capitan以降[MacOS 10.11～]）
	http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html

1.

フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.

ウインドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いないか確認してください。

※macOS High Sierra(MacOS 10.13)で外部ディスクが表示されない場合は、表示メニューの「全てのデバイスを表示」を選択し、ディスクユーティリティを起動し直してください。

【巻末付録】

MacOS 10.11以降でのフォーマット方法（つづき）

3.

❶ウインドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張（ジャーナリング）」を選択してください。

※macOS High Sierra（MacOS 10.13）では「MacOS拡張（ジャーナリング）」を選択してください。
また、APFSでフォーマットを行うと、macOS Sierra（MacOS 10.12）以前のOSでは読み込みできなくなりますのでご注意ください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS（FAT）」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。
「MS-DOS（FAT）」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。
exFATはOSのバージョン（過去のバージョン等）によっては、対応していない場合があります。

❷「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.

完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

MEMO

先頭ページへ

MEMO

【巻末付録】

サポートのご案内

■販売・サポート

株式会社 センチュリー

CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872　千葉県柏市トヨフタ(十余二)249-329

☎ 04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285
【Web】http://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

～お願い～
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

「センチュリーサポート」へご相談の際は…

製品型番
CRTS35U31C
を言ってね！

コンピュータは読み方が変な用語がいっぱい！

SATA?

えすえーていーえー?

読み方が判らない場合は
そのままアルファベットを読み上げてね！

パソコンや商品をご用意した上で
お電話いただくとスムーズにいきます。

先頭ページへ

― 本書に関するご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

http://www.century.co.jp/support/contact/questionnaire.html

先頭ページへ

保　証　書

保　証　規　定

1. 弊社の保証は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。したがいまして、本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 弊社製品は、本保証書に明記された保証期間を設けております。販売店にて記載された日付より保証期間が発生するものとします。取扱説明書の注意書きにしたがって、正常な使用状態で万一保証期間内に故障した場合には無償で修理いたします。
（修理が不可能な場合は在庫などの関係上、相当品をもって換えさせていただく場合がございます。）
3. 保証期間中であっても以下のような場合には保証いたしかねます。
   a. 保証書を提示されない場合。
   b. 販売店印、購入年月日等の未捺印・未記入、および字句を書き換えた場合。
   c. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   d. 事故等の外部要因に起因する故障および損傷。
   e. お買い上げ後の輸送、移動等における落下・衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障および損傷。
   f. 接続している他の機器に起因して生じた本製品の故障および損傷。
   g. 特定機種でのみ発生する動作不良等。（相性の問題）
   h. 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
   i. 改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障および損傷。
   j. 正常なご使用において消耗品が自然消耗、摩耗等した場合。
   k. オークション等を含む個人間売買や中古販売、または譲渡によって製品を入手した場合。
4. 無償保証期間内外を問わず、すべてセンドバックによる修理対応とさせていただきます。尚、保証期間内の送料は、発送時はお客様のご負担、修理完了後の商品の返送時は弊社の負担とさせていただきます。保証期間外の送料は、往復ともお客様負担とさせていただきます。
5. 本保証、または他のいかなる黙示または明示の保証のもとでも、弊社の責任は上記に規定する修理に限られます。いかなる保証違反についても、これらの救済を唯一の救済手段といたします。弊社は、保証違反または他のいかなる法理論から生じる直接的、特別、付随的または間接的な損害について責任を負いかねます。弊社が責任を負いかねるこれらのものには、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用、設備および財産への損害または交換、およびお客様の製品を含むシステムに蓄積されていた、または共に使用されたいかなるプログラムまたはデータの修復、再プログラミング、複製にかかる費用等が含まれます。
6. 修理期間中の保証に関しては、弊社到着日から返送日までの日数分、保証期間を延長させていただきます。
延長保証を受ける際には、弊社からの修理完了報告書を添付していただく必要がございます。
7. 保証内、有償に関わらず、交換した不良部品の所有権は、当社に帰属するものとします。交換した不良部品の返却は致しかねますのでご了承ください。また、いかなる場合も交換部品の先出し出荷及び販売は行いません。
8. 製品の保守部品の保管期間は生産完了後３年間とさせていただきます。その後の修理等に関するご要望にはお応えいたしかねる場合がございます。
9. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
10. 本保証は日本国内でのみ有効とさせていただきます。日本国外への保守対応、修理対応は行いません。
This warranty is valid only in Japan.

保証期間	ご購入から 1 年間

※中古販売/オークション等のご購入を除きます。

※保証期間内の修理の際、ご購入時のレシート等をご同梱いただきます。
紛失しないように大切に保管してください。

先頭ページへ